

1 学校教育目標

よく考える子 思いやりのある子 ねばり強い子

2 学校経営方針

☆ 夢いっぱい 笑顔いっぱい 希望あふれる高麗川っ子の育成

【すべては子供たちのために】

～子供たちが通いたい学校 保護者が通わせたい学校

地域の方が誇りに思える学校 教職員が勤めてよかった思える学校～

3 学校の実態から

- ・全体的には、素直で明るい児童が多く、集団としても協力し合いながら学習や活動ができる。
- ・今年度は、通常学級22学級、特別支援学級が4学級（知的2、情緒2）、院内学級1学級、合計27学級となる。（そのほか、通級指導教室が2学級ある）
- ・通学区域が広いが、地域の方々の見守り活動に協力をしていただいているお陰で児童の安全が守られている。

4 学校経営における具体的方策

（1） 主役は子ども

☆ 目指す児童像・・・夢いっぱい 笑顔いっぱい 希望あふれる高麗川っ子の育成

【学校目標との関連】

＜よく考える子＞（夢を持ち、進んで学ぶ子）

- ・自ら学び、よく考え、自分の言葉で表現できる子
- ・自分で判断し、行動できる子
- ・学んだことを日常生活に生かそうとする子

＜思いやりのある子＞（心豊かな笑顔の子）

- ・相手の気持ちを考えて、仲良く協力し合える子
- ・命を大切にする子
- ・美しい物を美しいと感じることのできる子

＜ねばり強い子＞（希望あふれる子）

- ・健康や安全に気をつけて生活できる子
- ・自分のめあてを持って、進んで運動できる子
- ・困難にあってもくじけずに、最後まで頑張ろうとする子

① 魅力ある教育課程の充実

② 積極的な生徒指導

③ 教育相談の充実を図りながらの児童理解

④ 体力向上の充実

- ・令和4年度より、水泳学習は市民プールを活用している。

(2) 主体は教師

☆ 目指す教師像・・・最大の教育環境は教師自身であることを自覚し、真摯に学び成長し続ける教師

- ① 学ぶ意欲に満ちた教職員集団（タブレットの効果的な活用）
- ② 不登校や登校渋り、教室になかなか入れない児童への組織的な対応
- ③ 教員の専門性や持ち味を生かした教科指導の充実（児童生徒の交流授業）
- ④ 明確な課題提示、児童の言葉によるまとめ等、学習過程の統一を図り、全ての学級で主体的・対話的な学習スタイルを構築する（教師がすぐに答えを導き出さない）。
- ⑤ 各種調査の活用
- ⑥ 主幹教諭を柱に学年主任等を核とした学年経営の充実を図る
- ⑦ 危機管理に秀でた組織作り
 - ・ 問題はその日のうちに解決する（途中経過でも家庭に知らせる）。
 - ・ （迅速は誠実の証である）
- ⑧ 教職員への信頼確保
- ⑨ 安心・安全な環境
 - ・ 教室後ろの習字の掲示は廃止している（UD への配慮も含む）。

(3) 支えは保護者・地域

☆ あるべき連携・・・子供たちのために学校、家庭、地域がそれぞれの責務を果たし、相互に補完しあう関係

- ① 保護者への連絡を怠らない（善悪・ケガ等）⇒迷ったら連絡をする。
- ② 家庭との連携（高麗川っ子 5つのがんばり）
- ③ P T A・地域の協力
- ④ コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進
- ⑤ 保・幼・小・中の連携
 - ・ 学校運営協議会を定期的に開催し、効果的な実践を図る。
- ⑥ 各機関との連携
 - ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の実践を進める。
 - ・ 民生児童委員、高麗川地区青少年健全育成の会等と協力して豊かな児童を育てる。
 - ・ 学童保育室、スポーツ少年団との連絡を密にし、相互理解を深める。

令和7年度の重点

- 授業実践を通じた学力の向上【見る目を育てる】
（中位層を上げる）（教えない教育の実践）
- 指導力の向上（ICT 活用）
- 学年学級経営の充実（居心地のよい学級づくり・学年全体をみる）
- 不登校や登校渋り、教室になかなか入れない児童への組織的対応
- 小中一貫教育の成果の情報提供（交流授業等）

本校の課題

- 1 学力の向上
- 2 不登校や登校渋り、教室になかなか入れない児童の対応
- 3 学校の組織力向上